

## 第58期(平成22年度)優秀部店・優秀現場表彰について

当社の現場表彰制度について紹介します。

現場表彰制度とは、社内の活性化と各現場間の実効ある競争を推進するため、優秀な業績を挙げた現場には報奨金を副え優秀現場として表彰する制度のことです。

平成17年度から現場表彰制度をスタートさせ、毎年改善を加えつつ運用し、今年で7年目を迎え、ほぼ制度として定着したと考えますので紹介するものです。

優秀現場選考のため、本社に現場表彰委員会を設置し、営業本部長を委員長とし常務以上の役員及び関係部門長を委員として人事通達し、その事務局を営業管理部として運営しています。

期初に現場責任者から現場目標管理シートが提出された現場を表彰対象として、各現場の予算目標値を基準に決算値と比較し、その達成状況を数値化して評価し選考しています。

平成22年度(第58期)優秀現場表彰式は、平成23年7月22日(金)本社で開催し、引き続き昼食会で歓談しました。

それでは第58期(平成22年度)優秀現場各賞の選考の考え方及び選考結果について紹介したいと思います。

### 1 現場表彰制度の賞区分について

58期優秀現場表彰は、次の8賞と各賞の評価点配分は次のとおりとして評価しました。

(1)原価率改善賞	35点	}	合計100点
(2)売上高達成賞	35点		
(3)安全・サービス・品質賞	10点		
(4)特別改善提案賞	5点		
(5)人材育成賞	10点		
(6)顧客満足賞	5点		
(7)総合賞	上記の各賞評価点の合計点から選考します。		
(8)特別賞	特別賞は、①企業イメージ子向上/②他の現場の模範/③社業に貢献の3つの観点から、表彰委員会で総合的に判断し選考します。		

### 2 表彰対象現場区分について

期初に現場目標管理シートが提出された現場を表彰対象とし、総合現場と単独現場に区分します。

単独現場とは売上高が清掃業務、設備管理業務、警備保安業務、その他の業務のいずれか単独の業務の現場をいいます。

一方、総合現場とは売上高が複数業務の現場で、単独現場以外の現場をいいます。

ちなみに、58期(平成22年度)は81現場から現場目標チェックシートが提出され、総合現場が57現場、単独現場が24現場で、その中から総合賞、原価率改善賞、売上高達成賞の現場を選考します。

### 3 58期の選考基準について

58期は、前期と同様に決算値が予算目標をどれだけ達成したかに基づき選考しました。

また、前期同様に総合賞現場は、原価率改善賞及び売上高達成賞を重複して受賞できない禁則規程を適用し、総合賞現場以外の次席の現場から原価率改善賞と売上高達成賞を選考しました。

#### (1) 総合賞

総合現場の総合賞は、原則として期初に現場目標管理シートを提出した現場を対象に、各部門賞の評価点を合計し、合計評価点が高く売上高、改善原価率、売上総利益の全てが黒字の現場から上位1位～3位を選考し、また単独現場の総合賞も同様に上位1位～3位を選考します。

すなわち、総合賞は各部門賞の評価点を合計し総合現場と単独現場の総合賞の1位～3位の現場を選考し、総合賞現場は原価率改善賞と売上高達成賞を重複して受賞できない禁則規程を適用しますので、夫々の次席現場から原価率改善賞と売上高達成賞現場を選考することになります。

なお、総合賞には洩れたが業績を上げた現場には努力賞として選考し、努力賞受賞現場には原価率改善賞と売上高達成賞を重複して受賞できない禁則規程は適用しません。

## 第58期(平成22年度)優秀部店・優秀現場表彰について

### (2) 原価率改善賞

原価率改善賞は、58期予算目標原価率と58期実績原価率の差の改善原価率から上位1位～3位を選考します。

$$\text{改善原価率} = 58\text{期予算目標原価率} - 58\text{期実績原価率}$$

前期同様に、総合賞現場は原価率改善賞又は売上高達成賞と重複して受賞できない禁則規定が適用されるため、総合賞現場を原価率改善賞と売上高達成賞から除き、それ以外の次席現場から選考しました。

### (3) 売上高達成賞

売上高達成賞は、次の売上高金額の予算目標達成額の上位1位～3位を選考します。

$$\text{売上高達成額} = 58\text{期実績売上高} - 58\text{期予算目標売上高}$$

原価率改善賞選考と同様に、総合賞との重複受賞の禁則規程を適用し、次席現場から売上高達成賞現場を選考しました。

### (4) 安全・サービス・品質賞

安全・サービス・品質賞は、全国の各現場から提出された2011年3月末の自主監査表データの#1～#50の評価項目から安全・サービス・品質の評価に係る#5～#36の○印を集計し、○印の多い現場順に並べ替え、表彰委員会審議で選考後、各部門長意見を聴取の上選考しました。

### (5) 特別改善提案賞

特別改善提案賞は、各現場の契約仕様書を確認し、契約仕様書とおりの業務を遂行しているのか、又は契約仕様書以外の業務を実施していないかについて評価することを目的としたものです。全現場の仕様書内容及び実施業務を完全に比較評価出来ないため、特別改善提案賞現場を選考することが極めて困難となり、58期表彰は該当なしとしました。このため、今期は5点減点し95点満点での評価となりました。

### (6) 人材育成賞

人材育成賞は、各現場から人事部に提出された58期取得資格の資格取得数に基づき選考しました。

### (7) 顧客満足賞

顧客満足賞は、当社のISO委員会が実施したアンケート調査結果を基本に、顧客の評価点が満点の8現場を表彰対象現場とし、現場実施業務毎の顧客評価点数を合計し最高得点現場を5点とし、各現場の顧客評価合計点数で内分し順位を決めた後、表彰対象現場の各部門長意見を聴取して最終判断し選考しました。

### (8) 特別賞

特別賞は、①企業イメージ向上/②他の現場の模範/③社業に貢献の3つの観点から、総合的に判断し表彰委員会で選考することとされています。

58期では総合賞現場、原価率改善賞と売上高達成賞現場以外の現場で、売上高、改善原価率、売上総利益の3つがTriple黒字の7現場を社業に貢献の観点から表彰現場として選考しました。

また、表彰委員会審議の結果、他の現場の模範に値する1現場を選考し、表彰対照としました。

なお、特別賞は①企業イメージ向上/②他の現場の模範/③社業に貢献の3つの観点から選考する趣旨に鑑み、順位はつけません。

### (参 考) : 総合賞の重複受賞の禁止規定について

総合賞の重複受賞の禁止規定とは、陽の当る現場の一人勝ちを防止するために設けた規程で、その要旨は下記の通りです。

① 総合賞受賞現場は、原価率改善賞及び売上高達成賞と重複して受賞できない。

② 原価率改善賞又は売上高達成賞は、次の部門賞各賞と重複して受賞できる。

i 安全・サービス・品質賞

ii 特別改善提案賞(但し、今期は該当なしとしました。)

iii 人材育成賞

iv 顧客満足賞

③ 安全・サービス・品質賞、人材育成賞、顧客満足賞は、相互に複数重複して受賞できる。

④ 特別賞は、総合賞又は部門賞各賞と重複受賞できる。

また、以上の現場場表彰制度に加え、本社業務部門及び各支店を対称とした部店表彰制度も58期から追加しました